

苦工同窓会

今年度も総会・懇親会中止

コロナ禍 高止まり!

令和4年度定期総会・懇親会は5月28日に開催を予定しておりましたが、会場が急遽公的機関(市役所・医師会)より、ワクチン接種の集団接種会場に指定されたため、苦工の総会は毎年5月の最終土曜日と固定されており、会場及び日程の使用状況から判断せざるを得ません。

役員会では書面決議により大変残念でありましたが、中止とさせて頂きました。

なお、総会では報告事項としての令和3年度一般会計・基金会計、また、協議事項として令和4年度の事業計画・会計予算の議題があります。今年度も特例として報告事項・協議事項について理事役員に「書面決議理事会審議議案書」に同意して頂きまして、本総会に諮り承認が必要ですが総会が中止になりましたので、理事会(案)を委員の皆様にお認め願う次第です。

発行 本部 幸一 22
 同窓会会長 田中 幸高 6-22
 幹事 小牧 幸高 0144-37-3088
 苦工同窓会

創立百周年記念事業 協賛会設立

SHOUKIITIさんなど幅広い分野で活躍されております。

記念行事としての式典・祝賀会は令和5年10月14日に行うよう進めており、協賛会は今後、募金活動を始め記念事業の内容を詰めて行きます。

設立総会では、互選により協賛会長に同窓会会長の田中 稔氏(土木科33年卒)が就任されました。就任挨拶の中で「今後も生徒が誇りを持つ学校であり続けるため、支援を続けたい」と抱負を話された。

協賛会の歩み

<協賛会設立準備期間>

- 令和2年10月14日 第1回協賛会設立準備委員会
- 3年3月20日 本部役員会議
- 8月30日 第2回協賛会設立準備委員会
- 10月5日 創立百周年記念事業協賛会設立総会

<協賛会設立総会以降>

- 3年10月27日 代表役員会(PTA・定時制後援会・学校・同窓会の代表者)
- 11月20日 同窓会本部・協賛会役員合同会議
- 12月16日 ゆうちょ銀行口座開設の申請
- 4年1月17日 代表役員会
- 22日 同窓会本部・協賛会役員合同会議
- ※第1回常任理事会は「書面決議」で対応を決定
- 3月29日 協賛会役員会議
- 記念事業の「石碑建立」について学校側に説明
- 4月7日 苦小牧税務署へ免税措置の事前審査資料提出
- 5月2日 進教育委員会へ寄附金使途計画書の提出
- 17日 財務委員会(協賛会の募金統括)打ち合わせ
- 27日 代表役員会
- 6月11日 同窓会本部・協賛会役員合同会議
- 24日 第2回常任理事会

卒業証書授与式 苦小卒業に誇りを持って

3月1日(火)に行われ244名(全日制222名・土木科35、建築科38、電気科37、電気科39、環境化学科40、情報技術科39、定時制・機械科9、建築科1)が清々しい表情で卒業証書を受け取っていた。

昨年に引き続きコロナウイルスによる「まん延防止等重点措置」が適用される中で、来賓者の出席もなくマスク超しで校歌は声を出せないなど短時間のセレモニーとなった。

卒業生は同窓会から贈られた「ソージュー」を胸に付け、宮岡校長先生から一人ひとりに卒業証書を受け取り、各賞の表彰も行われ最後に校長先生から活躍を期待する言葉として、保護者の方を始め関わった方々のご支援があったことに感謝して下さい、皆さんの人生はスタートしたばかりです。苦工に誇りを持って生きて行って下さいと話された。

母校百周年 来賓を迎える学校創立百周年に思うこと

同窓会副会長 協賛会常任理事 内田 忠吉



全国で活躍されている苦工同窓会の皆さまにおかれましては日頃の学校活動や同窓会活動に多くのご支援ご協力をいただき、先ずはこの紙面をもってお礼を申し上げます。

現在札幌支部の活動では

参加者が電気科昭和43年の卒業生が三分の一となっております。来年の学校創立100周年に向けた課題として札幌市役所支部との合併を検討し、更なる活動の強化を図り委員の拡大・交流を深める取り組みを進めたいと思っております。

振り返れば22年前、苦小牧市内で「飲むや!!」と苦小牧在住の同級生が声を掛けてくれた恩師も参加して懇親会を深めました。それ以前前のクラス会は1回開催しか2回開催か?そんな付き合い合いました。「飲むや!!」で集まり「あいつはどうしてる?」「あいつもあいつも亡くなっているよ」との情

報。一人欠けて二人欠けて驚きやら寂しさやら、「ならば来年から毎年健康確認をするためにもクラス会を毎年やろう!!」。翌年から連続21年間クラス会を開催して来ました。卒業40年、卒業50年は記念クラス会として原点の苦小牧で開催しました。いつも顔を合わせたたん、高校生に戻っています。コロナ禍で中断中はオンライン忘年会や新年会でつなぎ合ってきました。今年は開催を復活出来るか検討をしていますところだ。来年のクラス会は学校創立100周年記念式典・祝賀会の開催日(10月14日)に合わせて卒業55年記念クラス会を苦小牧市内

で開催すると既に決定し、全国の仲間にも連絡を取り合っています。必ずや肩を組み合い「速く狭霧につままれど夢深かりし勇払の...」と声高らかに校歌を歌い元氣確認そして絆を深め合いたいと思っています。自分がここまでやって来たのは同級生はもとより、苦工の恩師・諸先輩・後輩の皆さんのおかげと思っています。

これからは来年の学校創立100周年記念事業の成功・式典・祝賀会の開催・盛会に向けた取り組みに微力ですが力を注ぎたいと思っています。同窓生の皆さんのご協力をお願いする次第です。

入学式挙行



4月8日(金)令和4年度の入学式は「まん延防止等重点措置」が解除されたことにより、新入学生が一堂に揃い、また、保護者の方々も後の席から我が子の



晴れ姿を見届けていた。諸橋校長先生からは入学許可宣言があり、各担任の先生から一人ひとり名前を読み上げられ、全日制222名の入学が許可された。午後からは定時制の式で22名を迎えた工業技術科に12名の入学が許可された。校長先生からの式辞では夢を実現するための力を身に付け、未来の社会を創って行く当事者になることを強く意識して欲しい。また、常に課題意識を持つ感性を高めることも大事であり、少しでも前進して頂きたいと話された。

(各科の入学者)

- 土木科40、建築科40、電子機械科36、電気科40、環境化学科29、情報技術科37
- 定時制・工業技術科12

苦小牧工業高等学校 周年記念事業協賛会 設立総会

(火)18:00~ 北海道苦小牧工業高等学校